

◎ 展開する事業群(1-1-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり		
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援		
基本施策分野	①	母子の健やかな心と身体の育成支援		
事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
妊婦・周産期の母子保健事業の推進	○母子健康手帳の交付	こども福祉	H22~26	妊婦届 607 (11週以内の届け出 570 93.9%) 転入55 母子手帳613(双胎・再交付) 基本健診14回分、諸検査の費用を助成 助成総額:44,810,478円
	○妊婦健康診査費助成事業	こども福祉		184件 助成総額 581,440円
	○妊婦歯科健康診査費助成事業	こども福祉		
	○不妊治療費助成事業(健康保険適用分、特定不妊治療)(再掲2-(1)-(7))	こども福祉		不妊治療保険適応分(市助成分)のべ86人 特定不妊治療(京都府助成分)のべ30人
	○パパママセミナー(再掲1-(1)-(3)、1-(2)-(1)、1-(3)-(3))	こども福祉		実人数 妊婦80人 夫 43人 のべ人数:妊婦180人 夫 48人
	○産後ホームヘルパー派遣事業	こども福祉		実人数 10人 のべ派遣時間 196.5時間
乳幼児期の健康診査事業の推進	○3か月児健康診査(再掲2-(3)-(2))	こども福祉	H22~26	年24回 対象児:558人 受診者:555人 受診率:99.5%
	○1歳6か月児健康診査(再掲2-(3)-(2))	こども福祉		年12回 対象児:623人 受診者:583人 受診率:93.9%
	○3歳6か月児健康診査(再掲2-(3)-(2))	こども福祉		年12回 対象児:704人 受診者:609人 受診率:86.9%
乳幼児期の相談事業の推進	○10か月児発達相談(再掲1-(2)-(1)、2-(1)-(2)、2-(3)-(2))	こども福祉	H22~26	年12回 対象児:537人 受診者:513人 受診率:95.5%
	○2歳児発達相談(再掲1-(2)-(1)、2-(1)-(2)、2-(3)-(2))	こども福祉		年12回 対象児:673人 受診者:590人 受診率:87.7%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン(再掲1-(2)-(1)、2-(1)-(2)、2-(3)-(2))	こども福祉		年12回 乳幼児 871人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談(再掲1-(2)-(1)、2-(1)-(2)、2-(2)-(2)、2-(3)-(2))	こども福祉		実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業を開始 公立3保育所91人実施
	○転入時アンケート(再掲1-(2)-(1)、2-(1)-(2)、2-(3)-(2))	こども福祉		転入者346人中 290人回収(83.8%)
乳幼児期の訪問指導の推進	○妊産婦訪問	こども福祉	H22~26	妊婦9人 産婦495人(のべ496人)
	○こんには赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)	こども福祉		対象児:560人 受診者:522人 受診率:93.2%
	○養育支援訪問事業(再掲2-(3)-(3))	こども福祉		42件
	○乳幼児訪問	こども福祉		乳児479人(のべ482人) 幼児33人(のべ34人) 新生児 6人 未熟児5人(のべ6人)
	○障がいのある児童の訪問(再掲2-(2)-(2))	こども福祉		34件
*1 感染症予防対策の充実	○予防接種事業	こども福祉	H22~26	ポリオ98%MRⅠ期88.1% MRⅡ期95.7%MRⅢ期94.3% MRⅣ期83.9% 三種混合 110.6% 二種混合 82.5% 日本脳炎 110.6%BCG103.6% ピフ・小児肺炎球菌予防接種に対する費用全額助成(23年1月から開始) * 2か月以上5歳未満児を対象に、それぞれ1回から4回の接種費用を全額助成 ピフのべ514回 小児肺炎球菌のべ635回
	○感染症に係る危機管理	安心まちづくり室		危機管理体制を備えているが、大規模災害と同様の新型インフルエンザなどの感染症が地域的に流行していないため会議等は実施していない。
	○感染症に係る情報提供	健康衛生		・新型インフルエンザ予防接種費の助成。また、予防啓発、接種の情報をホームページ・広報・チラシに掲載した。 ・HIV検査週間、エイズ月間に啓発ポスターを庁舎に掲示及びホームページに掲載。また、パンフレットを成人式で配付。 ・ハンセン病に係るリーフレットを窓口に設置。
	○感染症予防事業(肝炎ウイルス予防検診、結核住民検診)	健康衛生		・検診の情報を各戸配布・市のホームページ・広報に掲載した。精密検査対象者には、受診勧奨を行い、経過を記録した。 ・肝炎ウイルス検診については40歳以上受診票を送付し受診機会の提供を行った。
★1 京田辺市健康増進計画の策定及び実施(★)	○京田辺市健康増進計画の策定及び実施(★)	健康衛生	H22~26	・「京田辺市健康づくり推進協議会設置要綱」に計画策定を位置づけ、全体構成や基礎調査内容について協議を行った。また、団体ヒアリングや市民アンケートを実施し、「京田辺市健康に関する意識調査結果報告書」を作成した。(協議会3回開催、ワーキング部会4回開催)
絵本にふれる機会の充実	○おはなし会(おはなしや絵本の読み聞かせ等の体験を通じて本に親しむ)	社会教育	H22~26	中央館 61回・1,176人 北部分室 57回・649人 中部分室 27回・470人
	○ふれあい絵本スタート事業	こども福祉		こんには赤ちゃん事業にて、絵本の配布 560冊
リフレッシュのための事業促進	○一時保育事業(再掲1-(3)-(1)、1-(3)-(2))	こども福祉	H22~26	年間2,115人が利用した
	○ファミリー・サポート・センター事業(再掲1-(3)-(1))	こども福祉		活動件数 2,520件 ・会員数 依頼(おねがい)会員 255人、提供(おまかせ)会員 94人、両方(どっちも)会員29人。合計378人 広報紙等で随時募っている。目標:会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成
健康情報システムの充実	○「健康手帳」の配布	こども福祉	H22~26	946冊
	○母子健康管理システム	こども福祉		ピフ・肺炎球菌ワクチン接種開始に伴う予防接種システム変更 母子健康管理システム定期保守
★1 子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆)	○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆)(再掲1-(2)-(2)、3-(2)-(3))	こども福祉	H22~26	1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布 23年1月から3月 128人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」53名参加
	○市民への応急手当の普及(再掲1-(2)-(2))	消防署		・普通救命講習会 6回 81名 ・救急指導 8回 146名

◎ 展開する事業群(1-1-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	②	保育所、幼稚園、小・中学校における健やかな身体の育成支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
保育所における児童の健康づくり	○保育所における健康診査等の実施 ・内科・歯科健康診査 ・尿・ぎょう虫検査 ・視力測定	こども福祉	H22～26	内科・歯科健康診査を、各所とも年間2回開催した 尿・ぎょう虫検査、各所とも年間1回開催した 視力測定は、河原・草内・三山木各保育所で年間2回開催した 全保育士に対して年12回の検便を行った
	○食中毒等の予防(職員の検便)	こども福祉		
	○歯みがき教室等の保健指導 ・歯科衛生士による歯みがき教室 ・保育所職員に対する保健研修	こども福祉		
小・中学校における児童・生徒の健康づくり	○児童の健康教育実施等に係る相談・支援等(再掲1-(1)-(4))	学校教育課	H22～26	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施 ・小学校での活動4回(115人) うち未来君 三山木小学校 6年 63人(2クラス) 定期健康診査(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。 エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
	○「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習)(再掲1-(1)-(4))	健康衛生		
	○小・中学校健康管理事業(定期健康診査の実施)	学校教育		
	○健康教育 ・エイズに関する指導を含む性教育	学校教育		
幼稚園における児童の健康づくり	○市立幼稚園健康管理事業 ・定期健康診査の実施 ・歯みがき指導	学校教育	H22～26	定期健康診査(内科、歯科、眼科、耳鼻科検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。歯みがき指導を各園で実施。 市内2園の私立幼稚園に対して、内科検診及び歯科検診を実施した補助として1名1種につき1,000円の補助を行った。
	○私立幼稚園健康診査事業への補助(市内私立幼稚園への補助)	学校教育		

◎ 展開する事業群(1-1-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	③	食育の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
母子保健事業における食育事業	○パパママセミナー(栄養・調理編)(再掲1-(1)-(1)-①、1-(2)-①、1-(3)-③)	こども福祉	H22～26	実人数 妊婦80人 夫 43人 のべ人数:妊婦180人 夫 48人 妊娠届数607(初産妊婦 266) 参加率:29.6%(48.2%) 年24回 前期 555人 年12回 後期513人 年12回 1歳6ヶ月健診で585人
	○離乳食教室(前期・後期)	こども福祉		
	○幼児食の指導相談	こども福祉		
☆2 児童館における食育事業(☆)	○伝統食等の調理実習(☆)	こども福祉	H22～26	「ちまきをつくろう」(5月29日開催) 高齢者を講師に迎え、世代間交流を兼ねた料理教室として実施。 小学生13名参加
☆3 保育所、幼稚園、学校における食育事業(☆)	○保育所給食等における食育の指導(☆)	こども福祉	H22～26	各所でも行事食の実施、展示食の実施を行った 食と生活リズムのアンケートを年間1回実施 給食だよりを年間12回発行 市立小学校9校でしょくいくだより、こんだてだよりを年9回発行し食育の指導に努めた。 普賢寺地域における収穫イベントを実施した。 小学校で玉露のお茶の入れ方教室を実施した。 学校給食における地産地消として、京田辺産の米、天王の味噌、たけのこ、シロネ、白菜、大根、海老茸、タマネギ、ジャガイモ、黒豆、えんどう豆、なすに加え、平成22年度はカボチャを導入。
	○幼稚園、学校等における食育の指導	学校教育		
	○食農体験	農政		
	○学校給食等における地元産野菜の導入	農政		
★2 健康づくり事業における食育事業(★)	○食育推進計画の策定及び実施(★)	健康衛生	H22～26	「京田辺市健康づくり推進協議会設置要綱」に計画策定を位置づけ、全体構成や基礎調査内容について協議を行った。また、団体セアリングや市民アンケートを実施し、「京田辺市健康に関する意識調査結果報告書」を作成した。(協議会3回開催、ワーキング部会4回開催) 教室回数全6回 参加実人数88人 普及活動80回(延べ3,030人)
	○疾病予防及び健康増進のための食育事業 ・プランニング・ユア・ライフ	健康衛生		
	○食生活改善推進員による食生活改善普及活動	健康衛生		
地域における食育事業	○地域における食育事業 ・公民館等における調理実習	社会教育	H22～26	料理教室(中央公民館事業)全5回延べ80人参加 そば打ち教室(北部住民センター事業)全5回 延べ44人参加 手作りパン教室(北部住民センター事業)全5回 延べ98人 ケーキづくり教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回延べ146人参加 洋風ランチ料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 90人参加 和風スイート教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ125人参加

◎ 展開する事業群(1-1-4)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	④	思春期からの健康づくり支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
* 2 思春期～青年期の健康づくりの支援	○性に関する啓発事業(エイズパンフレット配布)	健康衛生	H22～26	エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付。
	○思春期保健学習会(保育所、幼稚園、小・中学校及び母子保健担当係とのネットワーク構築)	こども福祉課 学校教育		未実施(人権教育保健部会がその役割を果たしている)
	○子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業*	健康衛生		中1～高1の女子を対象に、1人あたり3回接種の費用全額助成 のべ393回
小・中学校における児童・生徒の健康づくり	○児童の健康教育実施等に係る相談・支援等(再掲1-(1)-②)	学校教育	H22～26	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
	○「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習)(再掲1-(1)-②)	学校教育		・小学校での活動4回(115人) ・未来君 三山木小学校 6年 63人 2クラス
	○小・中学校健康管理事業(定期健康診断の実施)(再掲1-(1)-②)	学校教育		定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。
	○健康教育(再掲1-(1)-②)	学校教育		エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
子育てセミナー	○子育てセミナー(再掲1-(2)-①、1-(3)-③、2-(1)-①、3-(1)-①)	社会教育	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人

◎ 展開する事業群(1-1-5)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	⑤	医療体制等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
☆ 4 子育て支援医療費の助成(☆)	○子どもの医療費の助成(☆)(再掲2-(1)-⑦)	こども福祉	H22～26	入院は中学生まで、入院外は小学3年生まで対象年齢を拡大。 入院:652件 26,370千円 入院外:87,042件 126,324千円
小児慢性特定疾患日常生活用具の給付	○小児慢性特定疾患日常生活用具の給付	こども福祉	H22～26	0件
医療体制の整備・充実のための働きかけ	○小児救急電話相談「#8000」	こども福祉	H22～26	子育てマップ等による市民への周知 広報誌に掲載 ・年間69日開設、受診者数803人(1日平均11.64人) ・病院群輪番制の利用1人、八幡市休日応急診療所の利用9人。 ・府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(管内では宇治徳州会病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。 ・府の京都健康医療よろづネットの活用をした。
	○小児救急医療体制	こども福祉		
関係機関との連携強化	○休日応急診療所事業(京田辺市・八幡市)	健康衛生	H22～26	見直し後の平成20年度から京都府保健医療計画が実施され、地域の保健医療を支える基盤整備、患者本位の安心・安全な医療体制の確立、および主な死因に着目した切れ目ない保健医療サービスの提供が計画の重点施策となっている。計画における市町村の役割について協力するとともに、計画の充実について要望した。
自立支援医療給付事業の推進	○自立支援医療給付事業の推進(再掲2-(2)-②)	障害福祉	H22～26	自立支援医療(精神通院)受給者 37名
母子家庭医療費助成事業	○母子家庭医療費助成事業(再掲2-(2)-③)	国保医療	H22～26	平成22年度給付実績 1,936件 32,353千円